

れいわ・大石あきこ堂々再選

あらゆるバッシングはねのけ闘う

大阪5区

つじ恵惜敗 闘いやめぬ

政治的激突の時代に捲土重来

愛知15区

国会での活躍で「野党の星」と知られる大石あきこ衆議院議員。選挙区である東淀川・石あきこ衆議院議員選挙区は、前回比例復活の最後は決まった当選者だったが、今回も比例復活とはいえず、深夜には及ばず当選が決まった。しかしその再選の道は簡単ではなかった。NHK党首討論をはじめ、また橋下徹との裁判に勝つなどマスコミの注目度は高かったが、地に着いた知名度は決して高くない。

まず大阪5区という選挙区である。東淀川・石あきこ衆議院議員選挙区は、前回比例復活の最後は決まった当選者だったが、今回も比例復活とはいえず、深夜には及ばず当選が決まった。しかしその再選の道は簡単ではなかった。NHK党首討論をはじめ、また橋下徹との裁判に勝つなどマスコミの注目度は高かったが、地に着いた知名度は決して高くない。

愛知15区は豊橋・田原という東三河と渥美半島の選挙区。豊橋はJR豊橋駅前デッシュから豊橋駅前まで40分、田原はJR豊橋駅前デッシュから豊橋駅前まで40分。JR豊橋駅前デッシュから豊橋駅前まで40分、田原はJR豊橋駅前デッシュから豊橋駅前まで40分。JR豊橋駅前デッシュから豊橋駅前まで40分、田原はJR豊橋駅前デッシュから豊橋駅前まで40分。

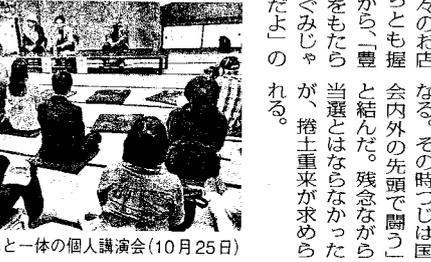


最終日、マイク納め。セントラルスクエア前には200人が(26日 大阪市淀川区)

9月19日には「仁義なき戦い」集会。5区選挙区民を中心に200人が会場をうずめ、山本太郎代表と大石あきこ衆議院議員の対談に聞き入り、この日は30年にわたる「賈金下落とコロナ禍、物価高」の3重苦を取り上げ、「れいわと一緒に社会を変えよう」となった。



最終日豊橋市中心街をねり歩き



豊橋市効外で、地域住民と一体の個人講演会(10月25日)

東北電力、政府、経産省一体の女川原発再稼働許すな

10月29日

東北電力は、10月29日東日本大震災で被災した女川原発2号機(宮城県)を住民の反対を押し切って再稼働した。住民の安全も顧みず、被災地の原発で初、福島第一原発と同じ沸騰水型炉として初の原発再稼働は許されぬ。



豊橋市効外で、地域住民と一体の個人講演会(10月25日)

人民の怒りと結合できない日本共産党 得票も議席もれいわに追いこされる

(投稿・総選挙雑評)

先日も兵庫の多くの市民団体の協議体で総選挙の論議になった。大半の意見は「政策的に最も正しいのは共産党になるが、この人はほば誰も投票しない」となった。それはこの10年の議論の中で、「市民と野党との共闘」と言いながら、参議院選も21年県知事選も絶えず独自候補を出し敗北する。その際「政党内は立候補する権利がある」と言われれば市民運動を介しての調整など最終的に徒

労に終わることを何回も経験してきたから、公政権の大敗となり、また大阪・関西万博も際立つ。今次選挙では野田佳彦立憲民主代表の「裏金選挙」がキーワードとなり、自民党を大敗に追い込んだ。それに対し共産党は「安保問題」で台意できないと共闘できないと共闘の輪を狭め、安保は別途に言え、こうい独善的セクト主義は県下各地に残る。尼崎(兵庫8区)では21年4月にれいわ予定者の事務所へ華新懇事務局長ら6人が立候補辞退を申し入れられた。今回はそれがなかったが、同じ共産党候補者は前回より2万票も減らした。

さらに今回の知事選では政党的支持を受けない「無党派・市民派」の実績をもつ元市長が立候補するが、100%当選の見込みのない医師をまたまた推薦。大抵の人は「当選可能性の高い市民派候補の足引っ張り」を何時までも「か」と考えている。

れいわは誤れば謝罪もする。まずは人に嫌われる事より、人に好まれることをやらない。織論・セクトの独善主義である。11月17日投票は市民運動を介しての調整など最終的に徒

は、わずか2人の県会か。(M)

(3面からの続き)
戦で地上戦が唯一戦わ
れ、全住民の4分の1
が亡くなった沖繩戦を
もっと大規模に再現す
ることになる。

歴史の教訓を挙げよ
う。太平洋戦争開戦
時の日米の経済格差
はGDPで4.9倍で
あった。現在の日本と
中国の格差はGDP
比で5.8倍に及ぶ。

2022年度の軍事費
の対GDP比は、米
2.85%、日本は0.
93%、中国は1.19%
である。中国はまだま
だ余裕がありそうであ
る。しかし日本が、2
倍、GDP比で2%に
すれば、財政が破綻し、
ハイパーインフレか、
国家的デフォルトに陥
るであろう。労働者人
民は塗炭の苦しみに陥
る。

もう一つの教訓。
第2次世界大戦の引
き金を引いたのは、
1939年9月、ヒト
ラー・ドイツのポー
ランド侵攻とされて
いる。しかし日本人
民が反省的にとらえ
るべきは、そうでは
ない。1931年柳
条湖事件、いわゆる
「満洲事変」が始まる。
1932年、日本の力
で「満洲国」が誕生
する。

1948年のイスラエ
ル建国宣言。1948年
のイスラエル建国宣
言。1948年のイスラエ
ル建国宣言。1948年
のイスラエル建国宣言。

第2段階として、
「建国国」。シオニ
ストを名目に、パレス
チナ側には独立に向け
る権利を与える約束を
した。しかしイスラエ
ルにも必要ない条件を
何ひとつ与えなかった。

その条件とは、ユダ
ヤ人入植地の撤去、東
エルサレムの返還、国
境管理権の移譲、水利
権の返還、難民帰還権
の承認などである。イ
スラエル国家を承認し
たPLO(パレスチナ
解放機構)は、対イス
ラエル闘争を放棄し、
「自治政府」を発足さ
せる立場に追いやられ
た。2006年パレス
チナ議会選挙がおこな
われた。オスロ合意に
反対し、イスラエル国
家を認めないハマース
がヨルダン川西岸、ガ
ザの両地区で勝利した。
これにむかいつた来政
府とイスラエルは、P
LO主流派のフアタハ
に資金を提供し、武器
を与えて武装クレータ
ーを起させた。その
結果、西岸はフアタ
ハが自治政府を名のり、
ガザはハマースが統治
することになった。そ
れ以降選挙はおこなわ
れていない。イスラエ
ルはその後数回にわた
り、ガザと西岸に抹殺
攻撃をかけている。

イスラエル国家の本質
は、オスロ合意の欺瞞
と裏切り。「2国家併
存」を名目に、パレス
チナ側には独立に向け
る権利を与える約束を
した。しかしイスラエ
ルにも必要ない条件を
何ひとつ与えなかった。

イスラエルは、パレスチ
ナ人民が民族的に決起
した。決してハマース
だけの闘いではない。
政治党派としても、ハ
マース(イスラーム抵
抗運動)、イスラーム聖
機構、PFLP(パレ
スチナ民族解放戦線)
の2国家併存を認める
アッバス議長に代表さ
れるフアタハ主流派た
る。イスラエルは、こ
れを参加していない。
イスラエルは、この支
持しか得ていない。イ
スラエル国家の解体的
立場を認める。イスラ
エル国家の拡大を国家
的価値と見なし、その
確立と強化を奨励する
ために行動するものと
する。

イスラエルは、パレスチ
ナ人民が民族的に決起
した。決してハマース
だけの闘いではない。
政治党派としても、ハ
マース(イスラーム抵
抗運動)、イスラーム聖
機構、PFLP(パレ
スチナ民族解放戦線)
の2国家併存を認める
アッバス議長に代表さ
れるフアタハ主流派た
る。イスラエルは、こ
れを参加していない。
イスラエルは、この支
持しか得ていない。イ
スラエル国家の解体的
立場を認める。イスラ
エル国家の拡大を国家
的価値と見なし、その
確立と強化を奨励する
ために行動するものと
する。

第2章 イスラエル国家の 解体

歴史から必然的な要求
章題にした立場はパ
レスチナ人民の共通綱
領であるだけでなく、
世界革命の立場から必
要とされる。まず歴史
的観点から見よう。
第1段階として19世
紀末、シオニズムが運
動として成立。最初
は、ヨーロッパで迫害
されたユダヤ人の「民
族主義」運動であった。
1917年、英外相の
バルフォアが中東パレ
スチナの地にユダヤ人
の「ホームランド」の
建設を約束する。その
ことにより、帝国主義
の植民地支配と結合
する思想・運動となっ
た。そこには、第1次
大戦の敗戦国となった
オスマン帝国の分割に
対する英帝国主義の思
惑があった。

第2段階として、
「建国国」。シオニ
ストを名目に、パレス
チナ側には独立に向け
る権利を与える約束を
した。しかしイスラエ
ルにも必要ない条件を
何ひとつ与えなかった。

その条件とは、ユダ
ヤ人入植地の撤去、東
エルサレムの返還、国
境管理権の移譲、水利
権の返還、難民帰還権
の承認などである。イ
スラエル国家を承認し
たPLO(パレスチナ
解放機構)は、対イス
ラエル闘争を放棄し、
「自治政府」を発足さ
せる立場に追いやられ
た。2006年パレス
チナ議会選挙がおこな
われた。オスロ合意に
反対し、イスラエル国
家を認めないハマース
がヨルダン川西岸、ガ
ザの両地区で勝利した。
これにむかいつた来政
府とイスラエルは、P
LO主流派のフアタハ
に資金を提供し、武器
を与えて武装クレータ
ーを起させた。その
結果、西岸はフアタ
ハが自治政府を名のり、
ガザはハマースが統治
することになった。そ
れ以降選挙はおこなわ
れていない。イスラエ
ルはその後数回にわた
り、ガザと西岸に抹殺
攻撃をかけている。

イスラエル国家の本質
は、オスロ合意の欺瞞
と裏切り。「2国家併
存」を名目に、パレス
チナ側には独立に向け
る権利を与える約束を
した。しかしイスラエ
ルにも必要ない条件を
何ひとつ与えなかった。

イスラエルは、パレスチ
ナ人民が民族的に決起
した。決してハマース
だけの闘いではない。
政治党派としても、ハ
マース(イスラーム抵
抗運動)、イスラーム聖
機構、PFLP(パレ
スチナ民族解放戦線)
の2国家併存を認める
アッバス議長に代表さ
れるフアタハ主流派た
る。イスラエルは、こ
れを参加していない。
イスラエルは、この支
持しか得ていない。イ
スラエル国家の解体的
立場を認める。イスラ
エル国家の拡大を国家
的価値と見なし、その
確立と強化を奨励する
ために行動するものと
する。

イスラエルは、パレスチ
ナ人民が民族的に決起
した。決してハマース
だけの闘いではない。
政治党派としても、ハ
マース(イスラーム抵
抗運動)、イスラーム聖
機構、PFLP(パレ
スチナ民族解放戦線)
の2国家併存を認める
アッバス議長に代表さ
れるフアタハ主流派た
る。イスラエルは、こ
れを参加していない。
イスラエルは、この支
持しか得ていない。イ
スラエル国家の解体的
立場を認める。イスラ
エル国家の拡大を国家
的価値と見なし、その
確立と強化を奨励する
ために行動するものと
する。

イスラエルは、パレスチ
ナ人民が民族的に決起
した。決してハマース
だけの闘いではない。
政治党派としても、ハ
マース(イスラーム抵
抗運動)、イスラーム聖
機構、PFLP(パレ
スチナ民族解放戦線)
の2国家併存を認める
アッバス議長に代表さ
れるフアタハ主流派た
る。イスラエルは、こ
れを参加していない。
イスラエルは、この支
持しか得ていない。イ
スラエル国家の解体的
立場を認める。イスラ
エル国家の拡大を国家
的価値と見なし、その
確立と強化を奨励する
ために行動するものと
する。

第3章 プーチンの ウクライナ侵略

「前進派」の許せな
い誤謬
「前進派」は、ロシ
アのウクライナ侵略を
肯定することによっ
て、ロシア擁護の立場
に転じた。ウクライ
ナ戦争を米帝(NATO)とロシアの戦争と
とらえる帝国主義間争
闘の論理で見る。ス
ターリン主義の問題を
ない。プーチンは、ウ
クライナ東部にいる
「ロシア系住民が弾圧
されているからその救
援のため」と言う。ま
た、「ウクライナがN
ATOに加盟するのを
阻止するため」と言う。

「前進派」は、プーチ
ン・ロシアの戦争目的
を「ロシア系住民が弾
圧されているからその
救済のため」と言う。
また、「ウクライナがN
ATOに加盟するのを
阻止するため」と言う。

勝利の展望

2015年、ロシア
は、技術的優位を生
かし、UAV(無人機)
の運用や電子戦を強化
する。(5面へつづく)

